

◆日本共産党の見解を紹介します。

http://toride.jcpweb.net

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

# 明るい取手

2012年5月13日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

## つくば市など竜巻・突風被害

### 被災者支援、ボランティア、支援募金を

5月6日に茨城県、栃木県を襲った大竜巻・突風。つくば市北部では家の屋根が吹き飛び、竜巻が直撃した住宅が倒れるなど家屋の損壊が相次ぎ、男子中学生が家の下敷きになって死亡。各地で大打撃となっています。

日本共産党は、ただちに塩川てつや衆議院議員、大内くみ子県議らが被災地に向け、現地党支部とともに調査。7日、住民要望をもって、つくば市、石岡市、茨城県に災害救助法の適用など、被災支援に全力をあげるよう要望しました。

7日、茨城県はつくば市などの「災

害救助法」適用を決定。さらに住宅に被害を受けた住民を支援する「被災者生活再建支援法」を適用する事を発表しました。また、国は、竜巻で発生したがれき処理費は「災害等廃棄物処理事業費補助金」を適用すると発表しました。処理費は国と市が負担、後に特別交付税措置により、市の負担は実質1割です。

日本共産党は、被災当日から地元党支部、議員が調査、そして食糧支援など被災者支援と救援活動を開始し、広くボランティア活動、支援募金を呼びかけています。



被害の様子を聞く塩川てつや衆議院議員・党議員団ら

## 取手市除染実施計画、国の了解は得られたが…

**放射能汚染**

除染を急げ

### 除染開始にはまだまだ… 個人住宅は来年か…



原発事故から14ヶ月、このまま県内一高い放射線量を浴び続けていいのか

取手市は、「除染実施計画」を環境省に提出(4月19日)し、同省の審査を受けていました。4月25日付で環境大臣より、「異存なし」とする文書での回答が市にありました。

5月7日、日本共産党取手市議団は、市の担当課から今後の除染の進め方等について説明を受けました。除染の進め方も未定のところが多く、本格的な除染が始まるまでにはまだまだ時間がかかりそうです。市が説明した概要についてお知らせします。(裏面につづく)

## 取手市、電力調達先一部変更へ

取手市は、市役所本庁舎をはじめスポーツセンターや市民会館、公民館など電力需要が多い施設で使用している電力の調達先を特定規模電気事業者(PPS)に切り替えることを決めました。契約期間は、平成24年7月1日～平成25年6月30日までの1年間。この切り替えて東京電力が試算した新料金と比較して、6施設合わせて年間でおよそ450万円(6.7%)の削減(前年度ベース)効果があるとしています。

学校など他の施設も順次切り替える方針です。

## 日本共産党市議団、取手市商工会と懇談

(記事は裏面にあり)

「原発ゼロの日本」  
「消費税にたよらない別の道がある」…

## 日本共産党演説会

志位和夫委員長がお話し  
します

7月1日(日)午後2時開会  
つくば国際会議場

取手から貸し切りバスを出す予定です。

一人で悩まずに  
生活相談・労働相談

お電話を  
電話 72-7816

弁護士無料法律相談 電話72-7816  
5月19日(土)午後2時～4時

除染実施計画の進め方について、日本共産党議員団に市が説明した概要についてお知らせします。

## スケジュールは…

●およそ次に示す順番で除染を進める。

### ①小・中学校

放射線量を再測定し、実施設計書を作成する。設計書は6月中に作成し、国に提出。

### ②公園・道路・公共施設

放射線量を再測定し、実施設計書を8～9月中に作成し、国に提出。

### ③民有地・施設(企業、個人住宅、アパート、マンションなど)

放射線量を再測定し、実施設計書を12月中に作成し、国に提出。

●それぞれ実施設計作成の予定はあるが、除染作業がいつ開始されるかはいまだ不透明。

## 進め方は…

●市内区域を3ブロック程度に分けて進める。

●民有地(個人住宅含む)は所有者に説明し、同意をとりながら進める。

●除染作業は、ブロック単位に専門業者に発注する。

## 除染は…

●除染は、福島県での除染経験を生かし、作業は地元業者中心に考えている。現在、見通しはたっていない。

国は、これまで指針、計画書などと、自治体に書類ばかりつくらせ、本格的な除染作業に入ることと、後へあとへと引き伸ばしているようにしか思えない。国は、子どもの健康を守ることにもしっかり責任を持つべきではないか…日本共産党事務所に寄せられた市民(女性)の声から

## 費用は…

●実施設計書を国に提出する時に、補助金申請し、事前に国からの補助金を受けて、除染作業に入る。

## 汚染土などの保管先は…

●除染によって出た土などの廃棄物の保管先・仮置き場は決まっていない。

# 取手市商工会と懇談

### 消費税増税を中止させるための協力・共同を要望

5月9日、日本共産党市議団は、消費税増税を中止させるための協力・共同への要望書をもって、取手商工会館で取手市商工会と懇談をしました。商工会側からは、菊地城一郎会長、塚本光男事務局長が出席。日本共産党側からは、加増充子、関戸勇、遠山智恵子、鈴木潔市議会議員が出席しました。

日本共産党市議団は「消費税にたよらない別の道があります—社会保障の充実・財政危機の打開」/日本共産党の提言ダイジェスト版を渡し、会員のみなさんへの配布とご意見を寄せていただきたいと要望しました。

懇談のなかで、「取手商工会加入1700社の中小業者をめぐる状況は震災前からかなり厳しいものだった。そこへ東日本大震災が襲い、売り上げが落ちている」、「地元業者への緊急支援が必要。商工会1700社加入のうち、年間で120社ほどが倒産・廃業。(新しく加入は100社くらいあるが)」、「取手市は地場産業の育成にもっと力を入れてほしい」…、「防犯灯LED取り替え、あと2、3年すればLEDそのものが安値になると言われているのに」などが話されました。

「東急ビル」再開の問題では、大事なことで、急がなければならない問題だと思っている。「東急ビル」を再

開するため、みんなが知恵を出すべき時だ。例えば、固定資産税の減額など行い、テナントが入りやすいようにすることもひとつではないか」

消費税の問題では、「消費税は必要だと思っているが、今、上げたら買いしぶりが起こり、経済も回らなくなる」、「低所得者が大変。生活必需品、食料などは非課税にしないでほしい」と…などと意見が交わされました。



## なぜ、急ぐ? 旧野々井中の売却



4月20日、取手市長は「旧野々井中」の売却意向を表明。関係予算約400万円を、市長の権限で専決処分。5月14日には「旧野々井中学校用地測量分筆業務委託」(予定価格331万円)の指名入札が執行されます。

2月21日に江戸川学園から跡地購入の打診があったから3ヶ月も経たない、異例の超スピードの対応です。…放射能対策は14ヶ月経ってもいっこうに進まないのに比べるとあきれるばかりです。

「旧野々井中の跡地については、有識者や市民などの意見を取り入れながら、具体的な利活用計画を策定していく」と市民と約束したことはおかまいなし。なぜ急ぐのでしょうか。「心配だ」の声があがっています。



5月1日、取手・北相馬地区メーデー  
取手市民会館から取手駅西口までアピールウオークと集会



5月3日、憲法フェスティバル  
水戸市千波町の千波公園はなみずき広場で雨のなか開催